

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

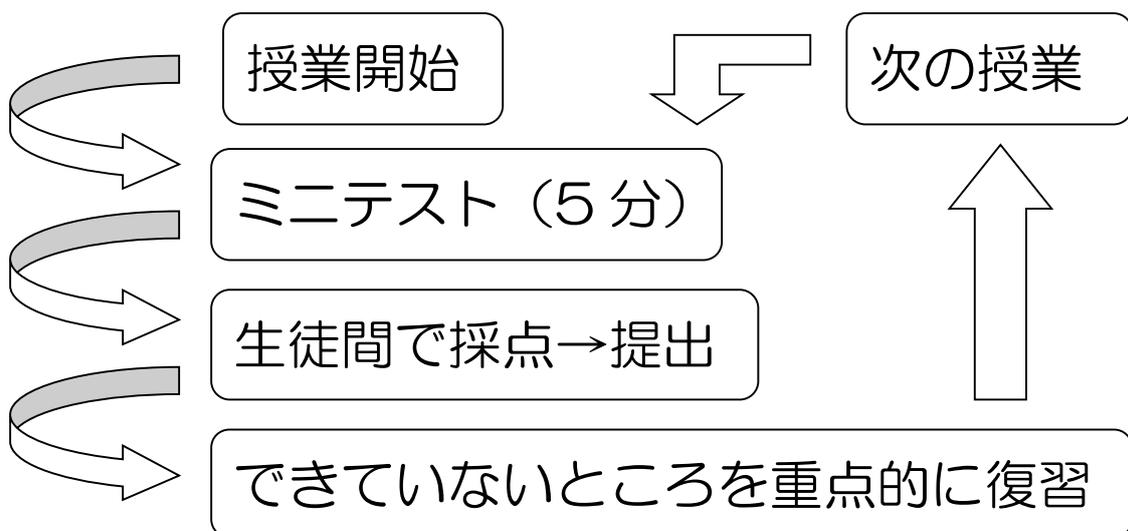
概 要	
学 校 名	習志野市立第四中学校
活用の仕方	国語の授業の単元始めに復習として、また力試しとして活用している。分野ごとの問題（漢字書き取り・読み取り、指示語の読解、要約、古文の基礎など）にもなっているため、ピンポイント学習としても利用している。
成 果 等	ルーティンで用いているわけではないので、一定の成果は測れないが、学習内容を焦点化した問題を、短時間（5分程度）で行えるのは、生徒の意識づけにも効果的であった。

【活用例】

「随筆の味わい—枕草子・徒然草—」の導入時に、復習として歴史的仮名遣いがどの程度身についているかを確認するのに使用した。

使用した問題：読むこと（古典）

目標① 歴史的仮名づかいに注意して正しく音読することができる。



「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	市川市立下貝塚中学校
活用の仕方	数学科において、次の単元に入る前に、既習事項の確認としてステップチェックの問題を取り入れている。また、思考力をつけるために、問題の一部をプリント学習や定期試験で活用している。
成 果 等	単元に入る前にステップチェックを行うことで、生徒の復習の場になるとともに、教員が生徒の理解度を把握した上で授業を進めることができた。授業のはじめに短時間で行うことができ、基礎基本の定着にも効果的であった。また発展的な内容を取り扱うことで思考力を養うことができた。

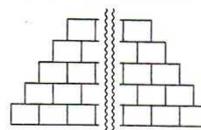
生徒が特に意欲的に取り組んでいた問題例。

- (4) 千葉県で一番東にある銚子市と南にある南房総市、北にある野田市から等しい距離にある場所（千葉県の中心になる地点）を作図で求め、どの市町村になるか答えなさい。



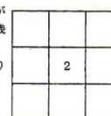
＜出典：千葉県ホームページ「県内市町村マップ」平成22年2月＞

- 3 下図のように、レンガを5段積み上げます。レンガの合計の個数を求める方法について考え、次の問いに答えなさい。



- 1番下のレンガの個数が8個のとき、レンガの個数はいくつですか。
- 1番下のレンガの個数を x 個とすると、レンガの合計の個数はどんな式に表せますか。
- 3段目のレンガの個数が61個であるとき、レンガの合計の個数はいくつですか。

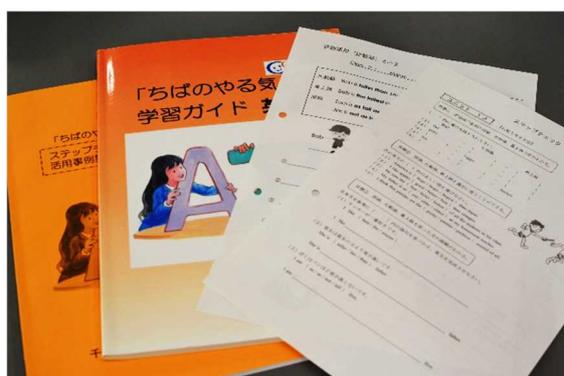
右の図のように、9個のマスがあります。中央のマスには、2が入り、4すみのマスには同じ1けたの自然数が入ります。また、残りの4つのマスも、別の同じ1けたの自然数が入ります。その結果、縦・横のどの3つの数の和も同じ数になるようになります。また、2の周りの8つの数字の和が52になりました。空欄にあてはまる自然数を求めなさい。ただし、4すみの数字を x 、残りの数字を y として考えなさい。



「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	松戸市立金ケ作中学校
活用の仕方	国語科では、ワーク等の問題演習と併せて使用し、問題演習の機会が増えて良かった。印刷するだけで使用でき大変使用しやすい。 英語科では、文型練習の項目が多数掲載されており、復習として生徒に使用させている。生徒の実態に合わせて難易度も調整でき、学力差がある集団でも、同じ学習内容で取り組みやすい。
成 果 等	どの教科でも、復習として使用している。特に学力に課題のある生徒にとっては、プリントの構成が見やすく、どのような課題であるか把握しやすい。基礎問題が豊富で取り組ませやすい。生徒たちも集中を切らさずに、取り組めている。学力の十分な生徒にとっても、例えば、英語では表現活動の項目も有り、達成感を感じているようだ。



英語の授業の様子
対象：1年生
内容：比較の授業

※この他にも松戸市独自の教科である言語活用科「英語分野」の授業の中でも活用を図っています。

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	八街市立八街中央中学校
活用の仕方	数学科において冊子・Web データベース両方から問題を選択して基礎基本の定着のための練習問題用に独自のプリントを作成し、授業の中で取り組ませた。また、グループワークで取り組む問題についてもデータベースから選び、生徒に取り組ませた。
成 果 等	標本調査の単元でグループワークを行った際、具体的かつ身近な問題が用意されていたので、生徒どうしの話し合いも意欲的で活発なものになった。また、その後の発表の場面でも、普段はあまり授業に向かない生徒が、クラスメイトとかかわりながら発表し、解答する姿が見られた。明確な目標と問題内容から、生徒の意欲が向上したと感じている。

※作成したプリント（例）

8章 標本調査

問題1 養魚場で、ある日によれた非産体の重さは96.6kgでした。この中から、無作為に抽出した群10個の重さを調べたところ、次のような結果を得ました。

66g	71g	68g	69g	71g	72g	70g	67g	69g	67g
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

これをつかって、次の各問いに答えなさい。

(1) この養魚場でとれる群1個の重さの平均は、97gであると予測できるか求めなさい。

(2) この日にとれた群の数は全部で何個であったと予測できるか求めなさい。

9年()組()番 氏名()

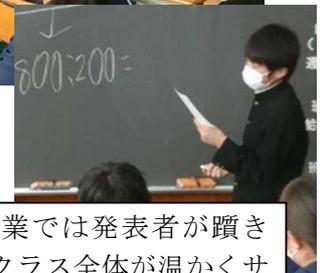
問題2 ある養魚場の池で、養殖している魚の数を調べることにしました。そこで、

①月曜日には200匹の魚を網ですくって印をつけ、もとの池に戻した。
②木曜日に何匹かの魚を網ですくって、印のついた魚がそのうち何匹いるかを調べた。

その結果から、この養魚場には2800匹の魚がいると予測できました。このとき、次の各問いに答えなさい。

(1) 木曜日にすくった魚のうち、印がついていた魚は7匹でした。木曜日にすくった魚の数は全部で何匹であったと推定されるか答えなさい。

(2) この養魚場で、金曜日に18匹の魚をすくったとすると、その中に印のついた魚は何匹いると予測されるか答えなさい。



生徒の実態により問題を精選、プリントを作成。左半分は全体で問題を確認し、一斉やペアで考えることが多いです。

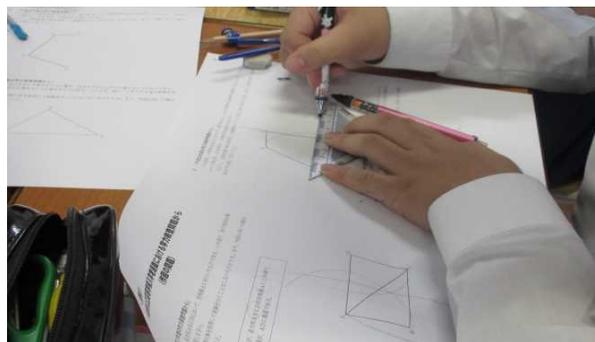
右半分は左の問題の類題や難易度を上げた問題を配置し、グループで意見交換を行いながら考えさせ、最後に発表します。(1～3班程度)

写真の授業では発表者が躓きながらも、クラス全体が温かくサポートしながら最後まで解答していました。活発な話し合いが、「みんなで解いた」という一体感を生んだようでした。

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

	概 要
学 校 名	白井市立七次台中学校
活用の仕方	各教科、指導案作成の際に生徒の実態をつかむため、レディネステストとして活用した。また定期テストの問題作成の参考にもしている。家庭学習プリントや補習プリントとして活用し、学習コーナーの充実を図った。数学科では、問題演習の際に活用している。
成 果 等	指導案作成では、生徒の学習内容の定着の様子が分かり、その実態をふまえて授業展開を考えることができた。廊下に学習コーナーを設置し、家庭学習プリントや補習プリントの内容を充実させることで、生徒が主体的に学習に取り組めるようになった。先生方にとっては、定期テストの問題作成、家庭学習プリントや補習プリントの負担を軽減することができた。



「ちばのやる気」学習ガイド 活用事例

概 要	
学 校 名	香取市立山田中学校
活用の仕方	国語、数学では、前時の学習内容の確認や、終末時の学習のまとめ等に活用した。家庭学習としても活用した。また、社会では、学習指導案を作成する際、定着させたい内容の確認等の参考資料として活用した。
成 果 等	ポイントを絞って取り組むことにより、各教科の基礎・基本の定着につながった。また、生徒が苦手としている内容にも重点的に取り組むことができた。その結果、学習内容の理解を深めることの一助となった。

〈国語「意見文を読み合う」〉

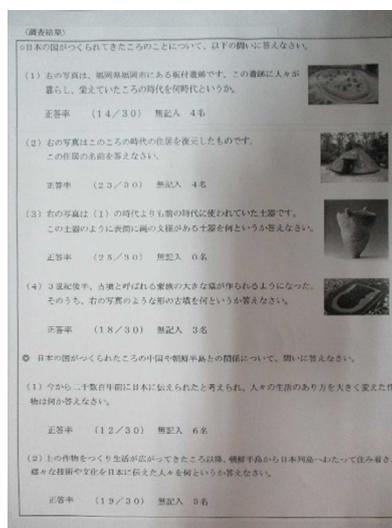
単元の最後に自分の意見文を書くことを目標として設定した。書く活動をスムーズに行うため、「学習ガイド」のステップチェックを用いて学習した。中心となる考えを書く、文章構成や表現の工夫、推敲の仕方など、5段階に分けて学習を行った。



書くことを苦手としている生徒も、400～600字程度の意見文を書くことができた。

〈社会「東アジアの中の大和政権」〉

生徒の実態調査をする際、学習ガイドのステップチェック社会1(歴史)NO.2 第2章古代までの日本(1)世界の古代文明と日本の国家形成を参考にしてレディネステストを作成し、実施した。

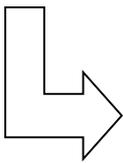


「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	銚子市立第五中学校
活用の仕方	各教科において、単元末のまとめ問題として活用したり、到達度を調べるために活用したりする等、授業の補助教材や定期テストでの問題として活用した。また、指導案作成時、生徒の実態を把握する際にも問題を活用した。
成 果 等	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎・基本」を、具体的な到達目標として生徒に提示できたことで、生徒の学習意欲喚起につながったと考える。 ・教員自身が県の平均と比較することができ、教材作成やテスト等の問題作成の参考にすることができた。

【数学】
単元確認
プリント



一次方程式、解けるかな？

PAGE:1

一次方程式、解けるかな？ 解答・解説

PAGE:1

名前: _____

設問1 3章 No.5 「一次方程式」目標④13079

- (1) $x = 3$ (2) $x = -1$ (3) $x = -2$ (4) $x = -1$
(5) $x = -22$

設問1 3章 No.5 「一次方程式」目標④13079
次の1次方程式を解きなさい。

(1) $3x + 4 = x + 10$ (2) $0.7x - 5 = 10x + 4.3$

(3) $3x - 2(3x - 5) = x + 18$ (4) $2(5x - 3) = -3(x + 6) - 1$

(5) $\frac{2}{3}x - \frac{1}{5} = -\frac{5}{3} + \frac{3}{5}x$

【解説】

(1) $3x + 4 = x + 10$ (2) $0.7x - 5 = 10x + 4.3$
 $3x - x = 10 - 4$ $0.7x - 10x = 4.3 + 5$
 $2x = 6$ $-9.3x = 9.3$
 $x = 3$ $x = -1$

(3) $3x - 2(3x - 5) = x + 18$
 $3x - 6x + 10 = x + 18$
 $3x - 6x - x = 18 - 10$
 $-4x = 8$
 $x = -2$

(4) $2(5x - 3) = -3(x + 6) - 1$
 $10x - 6 = -3x - 18 - 1$
 $10x + 3x = -18 - 1 + 6$
 $13x = -13$
 $x = -1$

(5) $\frac{2}{3}x - \frac{1}{5} = -\frac{5}{3} + \frac{3}{5}x$
 両辺に15をかけて、分母をはらいます。
 $10x - 3 = -25 + 9x$
 $10x - 9x = -25 + 3$
 $x = -22$

【その他・教科の活用】

国 語

・・・指導案作成時の生徒の実態を把握するために活用
→県平均との比較に役立てた。

英 語

・・・授業の補助教材として活用→生徒の到達度がわかりやすい。

社 会

・・・「〇〇字程度で説明しなさい」等の問題を授業で活用
→教材作成の参考になった。

理 科

・・・定期テスト・授業の到達度を調べるために活用
→県平均と比較できるため、生徒の励みになる。

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	東金市立東中学校
活用の仕方	本校独自の学習の手引き（自己評価表）作成の際、「ちばのやる気」学習ガイドに示されている学習重点事項や学習到達目標を参考にしました。また、問題を授業や家庭学習の課題として取り入れた。 定期テストの作成の際にデータベースを参考にし、問題の傾向など研修を深めた。
成 果 等	教科ごとに基礎・基本の定着が図られた。家庭学習の内容等にも工夫が見られた。

例) 数学科の自己評価表（一部）

第1学年 数学科 単元の自己評価表（3学期） 1年 組 番 氏名 _____

月	単元	学習内容	観点別の到達目標			
			数学への 関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数
12 ・ 1	平 面 図 形	<ul style="list-style-type: none"> 基本の作図 円とおうぎ形の性質 円とおうぎ形の計量 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や数学的活動に意欲的に取り組むことができる。 評価→ [] ◇ 課題等を提出している。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な作図を利用して、具体的な場面で活用することができる。 評価→ [] ● ☆ いろいろな平面図形の面積や長さを求めることができる。 評価→ [] ● ☆ 	<ul style="list-style-type: none"> 基本の作図をすることができる。 評価→ [] ● ☆ 円やおうぎ形の、面積、長さ、中心角の大きさなどを、求めることができる。 評価→ [] ● ☆ 	数
1 ・ 2	空 間 図 形	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな立体 空間内の平面と直線 立体のいろいろな見方 立体の表面積 立体の体積 球の計量 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組むことができる。 評価→ [] ◇ 課題等を提出している。 評価→ [] ◇ ※ 	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を立方体をもとにして、考えることができる。 評価→ [] ◇ 立体を見取図や展開図、投影図で表し、それをもとにして問題を解決し、説明することができる。 評価→ [] ● ☆ 空間図形を利用して、いろいろな問題を解くことができる。 評価→ [] ● ☆ 	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形や線分を、ある条件のもとで動かしたときにできる立体の名称を指摘でき、立体を投影図に表したり、投影図で表された立体の名称を答えることができる。 評価→ [] ● ☆ 柱体、錐体、球などの表面積や体積を求めることができる。 評価→ [] ● ☆ 	数
	確	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布 代表値と散らばり 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や数学的活動に意欲的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用して様々な問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から、度数分布表やヒストグラムを作成したり、代表値を求める。 ● ☆ ● ☆ ● ☆ ● ☆ 	数

本校で作成している「学習の手引き（自己評価表）」と「ちばのやる気」学習ガイドにある学習到達目標を照らし合わせて、問題を精選し、活用している。特に、「思考し、表現する力」を身につけるための手立てとして効果的である。

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	いすみ市立岬中学校
活用の仕方	社会科において、教材研究の際に参考にし、発問や導入、単元のまとめレポートのテーマに利用している。また、定期テストや単元末テスト等の問題作成の際にも、「ステップチェック」の問題を活用している。
成 果 等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、「トピックちば」を活用することにより、地域の内容であることから、生徒の関心を高めるとともに、地域の理解を深めることができた。 ・定期テストや単元末テストにおいて、「ステップチェック」を活用したことにより、生徒の学習到達度を図る参考となった。また、学習した内容のイメージマップの製作を行い、「ステップチェック」で学習内容の確認を行った。

《「トピックちば」の活用 3年社会科》

トピックちば(2) ～鉄道建設ブームと海水浴場の盛況～

第一次世界大戦は、日本の重工業に著しい発展をもたらしました。戦争による成金が現れ、この好景気は都市の商工業者からしだいに庶民に及び、娯楽もさかんになりました。こうした時、千葉県では鉄道建設ブームがおこりました。

1912(大正元)年に蘇我-木更津間、木更津-久留里間、大原-大多喜間の人車鉄道などが開通し、翌年には大原-勝浦間、1916年には流山-馬橋間、1919年に木更津-北条(現館山)間などが開通していきました。また、1921年には京成電鉄押上-千葉間が全通し、1925年には現内房線の終着鴨川までが開通しました。しかし、環状線とするための勝浦-鴨川間の開通は、1929(昭和4)年をまたなければなりませんでした。

「第一次世界大戦と日本」
「トピックちば(2)」
～鉄道建設ブームと海水浴場の盛況～
地域(大原～大多喜、大原～勝浦)の鉄道開通時期がこの頃であること、また、リゾート地として森鷗外の別荘や孫文の辛亥革命を支援した梅屋庄吉の別荘跡地とも関連づけたことにより、地域との関係性から関心を高めることにもつながった。

《「ステップチェック」活用後のイメージマップ 1年社会科》



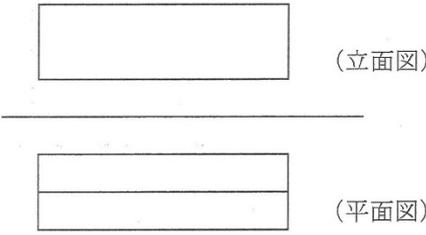
「ステップチェック」を活用したことで、基礎的・基本的な事項の振り返りができた。また、習得した知識を活用する問題、思考力や表現力を伸ばす問題に触れることができた。歴史的事項のつながりが明確になり、単元の終わりでは、イメージマップに表すことができた。

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	勝浦市立勝浦中学校
活用の仕方	数学科において、「ちばのやる気」学習ガイドの冊子に掲載されている問題の中から、思考力が磨かれ応用力を高められるような問題を抽出し、単元の終末などで「力だめしの発展問題」として活用している。
成 果 等	数学科の「ちばのやる気」学習ガイドの中には、教科書で取りあげられていないような題材が掲載されており、その題材に取り組むことで生徒は意欲や関心がかき立てられ、仲間と協力して解決しようとする学習態度の向上だけでなく、思考力を高めることにもつながっている。

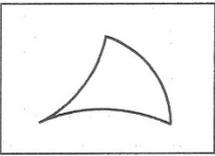
下の図の投影図の立体はいくつか考えることができます。横から見たとき図Ⅰになっていました。この立体の見取図をかきなさい。(解答例)

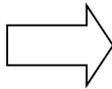


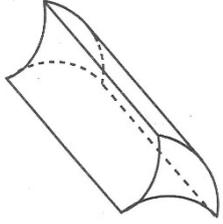
(立面図)

(平面図)

図Ⅰ



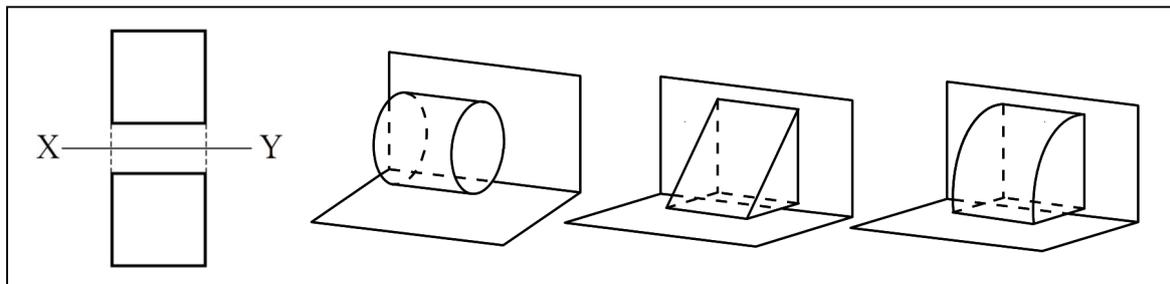




(解答例)

「ちばのやる気」学習ガイド 数学1改訂版 P.103

上の(解答例)のような立体は、名称が付けられておらず、教科書でも取りあげられていない。しかし、立面図や平面図だけからは限定しづらく、側面図を手がかりに思考力をはたらかせて解決する好題材といえる。そこで、この題材を課題Ⅱとして取り組む前に、課題Ⅰとして、下図のような立面図や平面図だけでは限定しづらい立体の側面図について考えさせる授業を展開した。



その結果、課題Ⅱ（「ちばのやる気」学習ガイド掲載問題）に対して、生徒たちは、側面図を手がかりに仲間と試行錯誤しながら、見慣れない立体のイメージをふくらませた。この活動を通して、課題Ⅰとは逆の過程をたどりながら、思考力をはたらかせて見取図を考えることができた。

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	君津市立亀山中学校
活用の仕方	国語について、2年生、3年生の古典の題材について、発展教材にと して扱った。授業で本文のみをみせ、班で話し合い活動しながら現 代語訳を作らせた。問題部分は、宿題とし、家庭学習の充実を図った。
成 果 等	事前に授業で解説を受けない古典的な文章について、自分達の力で話 合いながら内容をつかむことができた。また、読み取った内容を基に、 自分一人の力で演習をする経験をさせることができた。

*授業の流れ

- ① あらかじめ全く意味が分からないであろう語句の意味をまとめたプリントと
本文のみを印刷したプリントを配付する。
*類推すれば意味が理解できる単語については、あえて意味を記さない。
- ② 班単位で話し合いをさせながら、現代語訳を作らせる。
*机間指導をしながら、つまづいている班には助言をする。
- ③ 正しい現代語訳のプリントを配付し、班で自分達の作った現代語訳と比較させ
る。
*机間指導でほぼ、どの班も正しい現代語訳と同等のものができあがるよう
にさりげなく指導しておく
- ④ 学習ガイドのページを増し刷りしたものを配付し宿題とする。
- ⑤ 次の時間に提出させ、教師がチェックをし、返却する。

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

概 要	
学 校 名	富津市立天羽中学校
活用の仕方	理科では、復習プリントを作成し、授業内で実施している。数学科では、1・2年生の内容を單元ごとにまとめたプリントを空き教室に並べ、自由に利用できる環境を作り上げた。また、3年のまとめとして評価問題を活用した。
成 果 等	指導者、生徒共に重要事項を問題形式で確認でき、定期テストに向けての取り組み、学習状況の確認に役立っている。また、3年生のまとめの時期に評価問題を活用し、どこの分野の力が必要かを生徒自身で確認することができた。



数学科で準備した單元ごとにまとめたプリントを空き教室に準備している。テスト前や前学年の内容の復習をするときに生徒自身が、自分に必要なプリントをとり、家庭学習に生かしている。



3年生のまとめの時期に評価問題を実施した。各自で答え合わせをし、解説を読みながら弱点克服に役立てることができた。